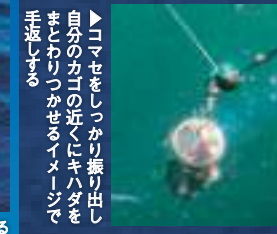
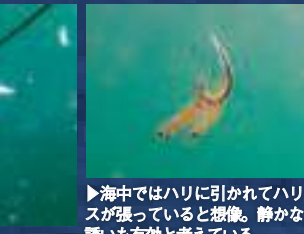
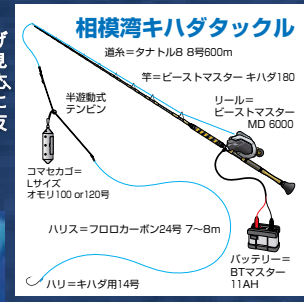


# コマセキハダの作法

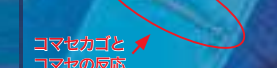
船長のアナウンスと反応を読む  
アタリを出させる核心は手返しにある。



▶コマセをしっかりと振り出し自分のカゴの近くにキハダをまじりつかせるイメージを手返しする



▼アナウンスどおりに仕掛けを沈めて2回、しっかりとコマセを振り出して正確にタナに合わせる



コマセカゴとコマセの反応

▲船長の反応はコマセと仕掛け。船長のアナウンスの後、ここにキハダの反応が出現し、上昇、アタリが防れた



仕掛けの位置  
キハダの反応

▲探見丸スクリーンには水深や反応だけでなく仕掛けの位置も映し出される



▲アタリは確先に明確に出ることもあれば振動となって伝わることもある。即合わせを入れる



▲仕掛けを落ち着け、かつ、合わせ幅をとるため竿先を下げた状態でアタリを待つ



## 【ビーストマスターキハダ180】

「コマセ釣りのキハダは50キロ以上の大型を狙いつつ、ハリ飲みを防止の意味でも、仕掛けを安定させてアタリを出させる意味でも、竿先はしなやかに敏感であることが求められます。今日は4回アタリをとり、すべて掛けることができ、この竿の感度とレスポンスを実感できました。ヤリトリではネジれず、キハダを持ち上げるバットパワーが十分にありました。今日のサイズ(20キロ)も軽がるリフトできました(松本)」  
●SPEC 全長1.8m 1本継ぎ 仕舞寸法180cm 自重682g 先径2.1mm オモリ負荷80~400号 カーボン含有率99.7%

## タックルの作法

モンスター級でのファイトが  
楽しみになるタックルを。

### 【NEW GIG-AMAX モーター】

まず驚くのが新規開発の大型モーターがもたらすパワーとスピード。モータートルクは19ビーストマスター6000の2.5倍



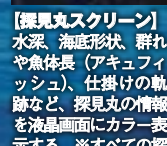
### 【強化ギアシステム】

ギアシステムを大幅に強化、脅威の耐久性を達成。長時間ファイトはもちろんキハダや泳がせ釣りなど、大物釣りのハードな使用に耐える



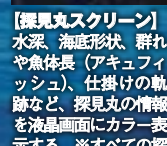
### 【動力かつ安定のドラッグ①】

最大ドラッグ力は19ビーストマスター6000から40パーセントアップの43kg。コマセキハダでは緩めの設定で始め、しっかりと走らせてから徐々に締める



### 【BTマスター 11AH】

ハイパワー電動リールの性能をフルに引き出すために大容量・高出力バッテリーは欠かせない



### 【探見丸スクリーン】

水深、海底形状、群れや魚体長(アキュフィッシュ)、仕掛けの軌跡など、探見丸の情報を液晶画面にカラー表示する ※すべての探見丸搭載船で使用可能。アキュフィッシュ機能は、アキュフィッシュ対応の親機搭載船のみ使用可能

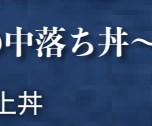
「この釣りでは、本当に探見丸があったほうがいいですよ。キハダの反応のわからないときも状況判断に役立ちます」冒頭の操舵室のソナーを思い出してほしい。あのとき、探見丸にはまだキハダの反応が映っていなかった。しかし、探見丸に反応がなくても船長が流し続けているということは、船の周囲にキハダがいるということだ。と、松本さんは考えた。

ゆえに、船長が手返しを促す直前にコマセを入れ替え、見事に食わせた。「基本的に自分のコマセと付けエサがシンクロするよう早めに手返しします。乗合船ではなおのこと、自分のコマセにキハダをまじりつかせるイメージで、手返しします」



### 【92/80ミリのロングハンドル】

コマセワークや取り込みでの最後のハンドリングを迅速に、違和感なく行えるロングハンドル仕様



### 【放熱システム】

キハダとのファイトで大きな違いを生み出すのが熱に負けない安定性。ドラッグから発せられる熱に対して、サイドプレートの一部にアルミニウムを採用することで放熱性を向上させポティを強化。安定した性能を発揮し続ける



## 食の作法 ~キハダの中落ち丼~

釣り上げたキハダならではの極上丼



◇材料=キハダの背骨周り/寿司酢(米1合に対し酢大さじ2、砂糖大さじ1、塩小さじ1/2)



- ①米は硬めに炊き、寿司酢をつくっておく
- ②炊き上がった米に寿司酢を回しかけ切るように混ぜて酢飯をつくる
- ③キハダの背骨の間の身をスプーンなどでネギとっていく
- ④ネギとった中落ちを酢飯に乗せれば完成。薬味を添え、わさびしょう油をかけて召し上がれ

情報と観察、合わせ損ねないよう手持ちで続ける根気、そして的確なフアイト。コマセキハダはトータルで沖釣りのスキルが試される釣りともいえる。「間違いなく今年も10月は大型が釣れます。もう一回、やりましょう」20キロでは飽き足らない松本さんの挑戦の続きは、動画にて。



この日は10キロ級、ハリ飲みと思われバラシ。写真の20.5キロ、重に10キロ級と、3本のキハダを釣り上げた



「船釣りの作法」動画公開中。  
YouTube SHIMANO TV  
公式チャンネルにてご視聴いただけます。